

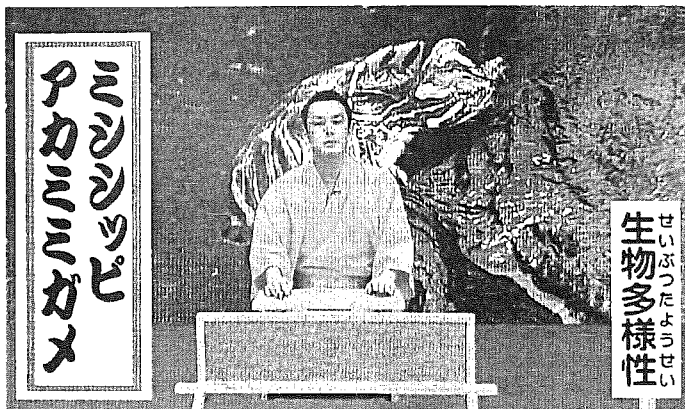
# 市、啓発DVD作製 小学校などに配布へ

## ミドリガメ捨てないで

河川やため池での大量繁殖が問題になっている外来種ミシシッピアカミミガメ(ミドリガメ)対策の一環として、明石市は飼育中の個体を池へ放たないことなどを訴えるDVD作品を制作した。小学校などに近く配布するほか、市のホームページでも公開している。

同市在住の落語家桂阿か枝さんが司会を務め、市ミドリガメ対策アドバイザーで神戸市立須磨海浜水族園の前園長、亀崎直樹さんらが出演している。

作品では、昨年に瀬戸



川水系で捕獲したカメ全約5千匹のうちアカミミガメが約6割を占めていることを紹介。原産地の

啓発用DVDの一場面

米国では近くにワニなどがあるため個体数が調整されるが、日本では天敵がおらず大量繁殖していることを伝えている。

また、頭の横に赤いラインがあるといった見分け方を説明し、市内で開かれた防除講習会の様子も紹介。「カメに罪はなく、私たち飼う側の意識を改めなければならぬ」と呼び掛けている。

市は「環境学習などに役立ててほしい」としており、近く市内の全小学校やコミセンなどに配布し、希望団体に貸し出す。市環境総務課 ☎078・918・5029

(井原尚基)